

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	エリザベト音楽大学
設置者名	学校法人エリザベト音楽大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
音楽学部	音楽文化学科	夜・通信		20	10	30	13	
	演奏学科	夜・通信			10	30	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/index.html">http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/index.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	エリザベト音楽大学
設置者名	学校法人エリザベト音楽大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.eum.ac.jp/about/organization/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人・社会福祉法人 理事（現職）	2019.4.1～ 2022.3.31	経営運営体制への チェック
非常勤	イエズス会社会司牧セ ンター所長（現職）	2019.4.1～ 2022.3.31	経営運営体制への チェック
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	エリザベト音楽大学
設置者名	学校法人エリザベト音楽大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月から12月まで毎月開催される学務・入試委員会において、当年度の授業実施状況を確認し、次年度の授業計画を立案する。12月末までに、次年度開設科目と担当教員を決定する。</li> <li>・1月の教授会にて授業計画(シラバス)の様式・事例を提示し、提出期限を通告する。</li> <li>・各授業担当者がポータルサイトにて授業計画(シラバス)登録を行う。</li> <li>・2月初旬の提出期限後に、学科長・学部長・学長が、授業の内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載されているかをチェックする。</li> <li>・3月初旬にポータルサイトにて授業計画(シラバス)を公開し、新学期が始まる前にあらかじめ学生に周知する。</li> </ul>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/">http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/</a>  <a href="https://unipa.eum.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006">https://unipa.eum.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学生の学修成果に基づき、「学部・学科教育課程履修規程」に従って、各授業担当者が成績評価を行い、教授会の成績判定会議にて、厳格かつ適正に単位授与また履修認定を実施している。</p> <p>成績は100点満点とし、60点以上を合格とする。「秀=S」100～90点、「優=A」89～80、「良=B」79～70、「可=C」69～60、「不可=D」59～1、「失格=F」0、とする。          (「学部・学科教育課程履修規程」第21条及び第22条)</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(算出方法)</p> <p>秀=4点、優=3点、良=2、可=1点、不=0点、失=0点とし、取得した成績の点数とその科目の単位数を掛け合わせ、全履修科目分を合計したものを合計点とし、その合計点を履修した科目の単位の総単位数で割る(総合計点÷総単位数)。最高点は4.00。成績が“失格”の単位も総単位数に含む。カテゴリ制試験・認定科目は、合計点に含まない。</p> <p>(算出方法の公表)</p> <p>年度初めのオリエンテーションにおいて、全学生・全教員にプリント(「GPAの算出方法について」)を配布し周知している。</p> <p>(分布状況の把握)</p> <p>HRクラス担任が全学生に成績発表時に成績通知書とともに、学年別学科ごとのGPA分布表を配布している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/">http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(卒業の認定に関する方針)</p> <p>エリザベト音楽大学音楽学部は教育理念として「教養・実力・慈愛のある音楽家の育成」を掲げ、卒業時までには身につけるべきこととして以下のことが求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カトリシズム(普遍性)の精神に基づき、幅広い教養・専門教育をとおして、自分を高め、「他者のために生きる」人となる。</li> <li>2. 音楽芸術および音楽教育に関する理論、技能および実践の教授研究により、真に芸術を愛し「美」の追求に真摯な人となる。</li> <li>3. 平和を愛し、地域社会および国際社会、とりわけアジア地域に貢献する人となる。</li> </ol> <p>「学則」並びに「学部・学科教育課程履修規程」に基づき、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数などを踏まえ、卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html">http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	エリザベト音楽大学
設置者名	学校法人エリザベト音楽大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/</a>
財産目録	<a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/</a>
事業報告書	<a href="http://www.eum.ac.jp/about/2019zigyohoukoku.pdf">http://www.eum.ac.jp/about/2019zigyohoukoku.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/finance/</a>

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 : _____ 対象年度 : _____ )
公表方法 :
中長期計画 (名称 : エリザベト音楽大学 長期計画 対象年度 : 2016 年度~2025 年度)
公表方法 : <a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : <a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/</a>
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 : <a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 音楽学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/research/">http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/research/</a> )
(概要) <u>音楽学部</u> カトリシズムの精神に基づいて教育を施し、広く知識を授けるとともに、深く音楽芸術に関する理論及び技能を教授研究し、良識ある音楽家を育成することを目的とする。
<u>音楽文化学科</u> 広く音楽文化、音楽芸術、音楽教育に関わる専門領域について、カトリシズム（普遍性）の精神と幅広い視野の下に理論と実践の両面から学ぶことで、音楽・芸術を愛し、地域社会や国際社会の音楽的発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。
<u>音楽文化専修</u> 音楽に対する愛と探求心を持ち、特に、音楽創作、音楽研究、音楽教育の領域における幅広い専門知識と豊かな思考力、実践力によって、地域社会及び国際社会の発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。
<u>幼児音楽教育専修</u> 幼稚園教諭免許課程の学修をするとともに、自らの音楽技術と豊かな感性を磨き、さらに幼児の音楽教育の指導について専門的な知識と指導力を習得することにより、音楽をベースとしながら幼児の人格形成の基礎を培う保育者となる人材を養成することを目的とする。
<u>音楽コミュニケーションデザイン専修</u> 音楽の基礎力をもとに、応用音楽学と心理学領域からのアプローチにより、繊細な感受性と豊かなコミュニケーション力、柔軟な人間理解の視点を身につけ、音楽産業、メディア、教育、医療、福祉機関など、広く社会で文化的貢献ができるクリエイティブな人材を養成することを目的とする。
<u>演奏学科</u> 日々の研鑽と美の追求によって、優れた演奏能力と人生を豊かに歩むための哲学や教養を身につけること、また、アンサンブルをとおして「他者のために生きる」意味を学ぶことで、人々の心に潤いを与え、地域社会や国際社会に貢献できる音楽家、指導者となる人材を養成することを目的とする。
<u>声楽専攻</u> 「声」という自らを楽器とする特性を生かせるよう、筋肉の鍛錬、呼吸法、歌唱法を研究、実践し、「ことば」と「おと」の融合芸術を身体をとおして表現する技術を学び、演奏、指導によって社会のあらゆる場面で貢献できる人材を養成することを目的とする。
<u>鍵盤楽器専攻</u> バロックから現代に至るまで幅広い時代の鍵盤楽器楽曲を、奏法、曲の成り立ち、社会的背景などの観点から多角的に研究し、幅広い視野を持ち、自らの探究心を高め

<p>ることで、演奏家、指導者として社会に貢献できる人材、そして豊かな教養ある人材を養成することを目的とする。</p> <p><b>管弦打楽器専攻</b></p> <p>音楽を愛するものとして、個々の演奏技術を高め、多様なアンサンブルをとおして社会性を養い、使命感・誇り・探究心を持って、社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html">http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html</a>)</p> <p>(概要) 「ディプロマ・ポリシー」</p> <p>エリザベト音楽大学音楽学部は教育理念として「教養・実力・慈愛のある音楽家の育成」を掲げ、卒業時まで身に付けるべきこととして以下のことが求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カトリシズム (普遍性) の精神に基づき、幅広い教養・専門教育をとおして、自分を高め、「他者のために生きる」人となる。</li> <li>2. 音楽芸術および音楽教育に関する理論、技能および実践の教授研究により、真に芸術を愛し「美」の追求に真摯な人となる。</li> <li>3. 平和を愛し、地域社会および国際社会、とりわけアジア地域に貢献する人となる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html">http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html</a>)</p> <p>(概要) 「カリキュラム・ポリシー」</p> <p>エリザベト音楽大学では、深く音楽芸術に関する理論および技能を教授研究するとともに、広く知識を授けて、「教養・実力・慈愛のある音楽家の育成」という教育理念の実現のために、次のことを基礎として教養学科目および専門科目のカリキュラムを構築している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学は、カトリシズムの精神に基づいて創立され、かつそれを指導原理としている。</li> <li>2. 本学は、カトリック・イエズス会の教育方針に従い、一般教育科目および外国語科目にも力を注いでいる。</li> <li>3. 本学は、すべての人々は兄弟・姉妹であるという精神から、家族的雰囲気をもととする学生一人ひとりとのきずなを教育の礎として、個別実技指導、少人数制の授業形態を重視している。</li> <li>4. 本学は、一般音楽の他に、グレゴリアン・チャント、ポリフォニーおよび現代宗教音楽等の教授・研究において他に類をみない特色を有し、全学生が履修する。</li> <li>5. 本学は、学生がクラス担任教員および指導教員の助言のもとに幅広く理論科目または音楽の実技指導を受ける体制を築き、各自の専門性を深めると同時に新しい学問分野に対して積極的に挑戦する姿勢を身につけさせる。</li> <li>6. 本学は、独自のキャリア支援教育を初年次より実施し、卒業後の進路決定を各自で行えるよう、カリキュラムにおいて展開する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html">http://www.eum.ac.jp/about/philosophy/index.html</a>)</p> <p>(概要) 「アドミッション・ポリシー」</p> <p>「教養・実力・慈愛のある音楽家の育成」という音楽学部の教育理念を理解し、それに必要な基礎的な学力・知識および音楽の表現能力のある人。音楽および教育に関する専門性追求のみならず、幅広い教養および世界平和に貢献する人材に必要な学習・研究を意欲的に行う人。</p>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：<a href="http://www.eum.ac.jp/about/organization/">http://www.eum.ac.jp/about/organization/</a></p>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
音楽学部	—	13人	8人	8人	人	人	29人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
人				106人			106人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/faculty_member/">http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/faculty_member/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
音楽学部	70人	76人	108.6%	310人	233人	75.2%	若干名人	1人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	70人	76人	108.6%	310人	233人	75.2%	若干名人	1人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
音楽学部	56人 (100%)	13人 ( 23.2%)	30人 ( 53.6%)	13人 ( 23.2%)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	56人 (100%)	13人 ( 23.2%)	30人 ( 53.6%)	13人 ( 23.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(進学先) エリザベト音楽大学大学院 他				
(就職先) 小学校・中学校教諭、幼稚園教諭、楽器店講師、音楽関連企業、消防音楽隊、信用金庫、ホテル等一般企業、地方公務員 他				
(備考)				



c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	59人 (100%)	52人 ( 88.1%)	0人 ( 0%)	7人 ( 11.9%)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月から12月まで毎月開催される学務・入試委員会において、当年度の授業実施状況を確認し、次年度の授業計画を立案する。12月末までに、次年度開設科目と担当教員を決定する。</li> <li>・1月の教授会にて授業計画（シラバス）の様式・事例を提示し、提出期限を通告する。</li> <li>・各授業担当者がポータルサイトにて授業計画（シラバス）登録を行う。</li> <li>・2月初旬の提出期限後に、学部長・学長が、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載されているかをチェックする。</li> <li>・3月初旬にポータルサイトにて授業計画（シラバス）を公開し、新学期が始まる前にあらかじめ学生に周知する。</li> </ul>

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
各学生の学修成果に基づき、「学部・学科教育課程履修規程」に従って、各授業担当者が成績評価を行い、教授会の成績判定会議にて、厳格かつ適正に単位授与また履修認定を実施している。				
成績は100点満点とし、60点以上を合格とする。「秀=S」100～90点、「優=A」89～80、「良=B」79～70、「可=C」69～60、「不可=D」59～1、「失格=F」0、とする。				
「学部・学科教育課程履修規程」に基づき、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数などを踏まえ、卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
音楽学部	音楽文化学科	124単位	有・無	単位
	演奏学科	124単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： <a href="http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/">http://www.eum.ac.jp/faculty/feature/career_support/syllabus/</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：[http://www.eum.ac.jp/about/information\\_disclosure/](http://www.eum.ac.jp/about/information_disclosure/)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
音楽学部	音楽文化学科	1,300,000円	300,000円	300,000円	施設維持費 300,000円
	演奏学科	1,300,000円	300,000円	300,000円	施設維持費 300,000円
	音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)	850,000円	300,000円	325,000円	施設維持費 300,000円 実習費 25,000円
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要) 学習支援アシスタント制度を導入。大学の大学院生による学部生への全般的な学習支援システムにより、学习上分からない箇所や学習のポイント等を丁寧に説明。支援の内容は主にソルフェージュ、音楽理論(和声、位体法など)、外国語、音楽史、演奏技術向上支援など。試験の前はもちろん、普段から不安な科目や学習内容について支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>2010年度より、教養学科目を改訂し、キャリア支援科目の必修化を行った。「キャリア教育Ⅰ・Ⅱ」(各1、2年次必修)では、各自の成長の歴史を振り返り、就職意識を醸成し、コミュニケーション能力向上を図っている。「キャリア教育Ⅲ」(2～4年次選択)では、教育関係施設又は音楽産業でのインターンシップを実施している。</p> <p>教職課程の履修では、単に単位を取得するだけでなく、教員として精神面での成長のために教養・教職主事をはじめ担当教員が様々な指導・助言を授業外でも与えている。「教師論」(1年次教職必修)では小学校実習体験を行うが、これ以外にも教育ボランティア等を実施して、学生のキャリア形成において有効な手段とし、積極的な参加を呼びかけている。</p> <p>学部3・4年生全員に対して進路希望調査票をもとに国家資格キャリアコンサルタントの資格を持つ室長が1対1の個人面談を行い、キャリア意識の醸成、就職の意思確認及び進学希望調査を実施している。また同時に、キャリア支援の体制として学内にキャリアサポート委員会を設置し、在学生の進路を全学的に支援する体制を整えた。</p> <p>就職、進路支援を目的として、本学を卒業して各界で活躍する卒業生や就職内定者を講師に招き、卒業後の進路について「進路オリエンテーション」を行っている。学生の将来の進路の幅を広げるとともに、日頃の学修意欲の向上を図っている。</p> <p>大学院進学に関しては、大学院説明会を例年7月から8月に開催して、在学生の進学意識を高める試みを行っている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>(保健室) 学生の体と心の健康状態や悩みなどについて看護師が相談に応じる。病気、気分が悪くて体を休めたい、健康相談をしたい、怪我をしたときや心に悩みがあり相談したいとき、医療機関を紹介してほしいときなどに学生が利用をしている。</p> <p>(学生相談室) 大学生活の中で出会う様々な疑問、問題、悩み等心の悩みについて、自由に相談できるよう経験豊富なカウンセラーによる専門的な支援を行っている。</p> <p>(ホームルーム制度) 各クラスに2人から3人の担任教員を置き、年間で定期的にホームルームを実施するほか、定期試験の前、及び成績発表時に個人面談を行い、学生一人ひとりの学修状況、健康状態、進路希望等、学生生活全般に関する事柄を把握している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.eum.ac.jp>